

NVO Top100 ジャパントラストランクイン(4月時点)

〈日刊 CARGO掲載〉

情熱羅針盤
ジャパントラストかわら版



4月の米輸入NVOCCランキング

ブルーアンカー首位に 西岸問題収束で物量平準化

順位	社名	4月取扱高 (TEU)	前年同月比増減
1	ブルーアンカーライン	34,817	2.5%
2	エクスダイターズ	33,527	▲3.2%
3	クリスタルラインズ	25,806	0.1%
4	エイベックスシッピング	21,027	7.9%
5	オリエントエクスプレスコンテナ	20,716	15.7%
6	タンマーラインズ	13,735	▲20.3%
7	シェンカーオーシャン	12,499	▲12.9%
8	オナーレーンシッピング	11,938	4.9%
9	トップオーシャンコンソリデーション	9,962	▲2.3%
10	パンテナーエクスプレス	9,315	▲8.0%
11	デューエルコンテナシッピング	8,222	▲16.4%
12	ペクニーシッピング	8,056	▲14.9%
13	UPSアジア	7,897	▲13.8%
14	DSVオーシャン	7,775	6.7%
15	チャイナインターナショナルフレート	6,525	1.7%
16	フェデックストレードネットワーク	6,407	▲12.1%
17	郵船ロジスティクス(古賀)	6,165	-
18	シーマスターロジスティクス	5,938	▲38.9%
19	トランスリンクシッピング	5,686	22.6%
20	UTL	5,678	12.4%
21	ピラミッドライン	5,291	16.4%
22	KWE+APL	4,620	-
23	郵船ロジスティクス米国法人	4,530	25.5%
24	日本通運米国法人	3,736	16.5%
25	トールグローバルフォワーディング	3,067	▲1.5%
26	近鉄エクスプレス	2,899	27.8%
27	三菱倉庫米国法人	2,671	▲1.2%
28	エアタイガーエクスプレス	2,431	▲9.6%
29	住商グローバルロジスティクス米国法人	1,891	57.6%
30	APLロジスティクス	1,721	8.1%
31	郵船ロジスティクス米国法人	1,635	16.9%
32	リコーロジスティクス	1,338	8.4%
33	CDSグループ	1,116	▲23.2%
34	ジャパントラスト	951	90.5%
35	上位100社合計	442,086	4.9%

4月のNVOCC上位100社による米国輸入コンテナ取扱量は44万2086TEUだった。前年同月比では4.9%増ながら、今年3月比では13%減。米国西岸労働交渉が2月に暫定合意に達し、混雑問題が収束に向かい、輸入ラッシュがVOC、ブルーアンカーライナーが2.5%増で首位の座についた。米国3PLニュースが米調査会社Zepol統計をもとにまとめた。4月の米輸入NVOCCの上位20社と、100位以内に入った日系企業は表のとおり。上位100社中、83社が3月比で物

量を落としたが、前年同月比では減少となったのは39社だけだった。日系では郵船ロジスティクス米国法人が25.5%増の4530TEUで23位と最高位。郵船ロジスティクスは米国・日本の2社合算で6165TEUとなり、17位のシーマスターロジスティクスを上回る。また、近鉄エクスプレス(39位、27.8%増の2899TEU)と、同社がこのほど買収したAPLロジスティクス(APL、63位、8.1%増の1721TEU)の合算では、23位の郵船ロジスティクス米国法人を上回る。日本郵便が買収したトールグループのトールグローバルフォワーディングは35位、1.5%減の3067TEU。また、中部の独立系NVOCC、ジャパントラストが98位(90.5%増の951TEU)と、久しぶりの100位以内ランクインとなった。100位以内にはこのほか、28位に日本通運米国法人(16.5%増の3736TEU)、

5%増の3736TEU)、49位に川崎汽船が出資するエアタイガーエクスプレス(9.6%減の2431TEU)、59位に住商グローバルロジスティクス(57.6%増の1891TEU)、76位にリコーロジスティクス(8.4%増の1338TEU)、90位に日立物流グループのCDS(23.2%減の1116TEU)が名を連ねた。上位陣では、ブルーアン

カーラインが首位に立った。ただ、前月7位のオナーレーンと同8位のシェンカーオーシャンが順位を入れ替え、同10位のヘネリーが12位にランクダウン。前月11位のパンテナー(ペナルビナグループ)が順位を二つ上げトップ10にランクインした。トップ20内ではニケタ増が4社、ニケタ減が7社と、企業ごとに明暗が分かれた格好だ。

〈海運ニュース掲載〉

4月の米国輸入NVO Top100 前月比13%減、日系でJapan Trustもランクイン(15-06-08)

米国の3PL Newsによると、調査会社のZepol Corporationが米国税関のACE・B/Lデータをもとにまとめた今年4月のNVO Top100米国輸入コンテナ貨物量は合計で43万1,300TEUと前月比13.39%減少したが前年同月比では2.35%増加した。北米西岸港湾労働交渉が終結し、混雑が緩和し物流が円滑化した3月に異常に増加した後、例年並みに落ち着いたもので、100社のうち83社が前月比で減少したものの、前年同月比で減少したのは39社にとどまった。

1位はBlue Anchor America Line (3万4,817TEU)、2位がExpeditors International (3万3,526TEU) 3位がCristal Lines (2万805TEU) で続き、トップ3とも前月比でマイナスとなった。

日系NVOはYusen Logistics Americasが4,530TEU (前年同月比25.5%増) で23位、Nippon Express U.S.A. Illinoisが3,736TEU (同16.47%増) 28位、近鉄エクスプレスが2,809TEU (同27.8%増) で39位、Mitsubishi Logistics Americaが2,670TEU (同1.25%減) で44位、Sumisho Global Logistics USAが1,891TEU (同57.4%増) で59位、郵船ロジスティクスが1,634TEU (同16.93%増) で65位、リコーロジスティクスが1,338TEU (同8.4%増) で76位、**ジャパントラストが951TEU (同90.47%増) で98位と8社が入った。**

おかげ様で米国輸入NVO Top100の98位にランクインする事ができました。日刊CARGO、海運ニュースに取り上げて頂きこれもひとえに、皆様のお力添えのおかげと深く感謝しております。今後も社員一丸となって、より一層のサービス向上に努めてまいります。宜しくお願い申し上げます。

ジャパントラスト社員一同

